

平成 28 年 12 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社アクトコール
 代表者名 代表取締役 平井俊広
 (コード番号：6064 東証マザーズ)
 問い合わせ先 専務取締役 菊井 聡
 電話番号 03 - 5312 - 2303

業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 28 年 1 月 14 日に公表いたしました平成 28 年 11 月期（平成 27 年 12 月 1 日～平成 28 年 11 月 30 日）の連結業績予想を下記の通り修正する見込みですので、お知らせいたします。

また、同期間内におきまして、特別損失を計上する見込みですので、併せてお知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 11 月期 連結業績予想数値の修正（平成 27 年 12 月 1 日～平成 28 年 11 月 30 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	百万円 3,857	百万円 425	百万円 406	百万円 266	円 銭 70.59
今回修正予想 (B)	4,061	240	240	143	37.61
増 減 額 (B - A)	203	△185	△166	△123	
増 減 率 (%)	5.3%	△43.5%	△41.0%	△46.1%	
(参考) 前期連結実績 (平成 27 年 11 月期)	3,583	596	569	212	56.22

※ 平成 28 年 6 月 1 日付で、普通株式 1 株につき 3 株の割合で株式分割を行っております。

このため、1 株当たり当期純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、算定しております。

2. 業績予想修正の理由

平成 28 年 11 月期における連結売上高につきましては、3,857 百万円を予定しておりましたが 203 百万円増加の 4,061 百万円となる見込みです。これは、主に、当社グループの既存事業である、住生活関連総合アウトソーシング事業における緊急かけつけ等会員制サービスの会員数、不動産総合ソリューション事業におけるサービスオフィス事業の契約件数および決済ソリューション事業における家賃収納代行サービスの契約件数が堅調に推移したこと、また、M&Aによって飲食事業をグループ化したことによります。

しかしながら利益面につきましては、前回予想を下回り、営業利益は 185 百万円減少の 240 百万円、経常利益は 166 百万円減少の 240 百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は 123 百万円減少の 143 百万円となる見通しであります。

営業利益及び経常利益については、既存事業はほぼ計画通り推移したものの、不動産総合ソリューション事業における RE/MAX JAPAN(株式会社k i d d i n g)の立ち上げ、その他事業における A I 研究開発等の事業化(株式会社ジーエルシー)および飲食事業規模拡大のための新店舗オープン(株式会社ヒトビト)等、中長期の企業価値向上を目指した新規・成長領域への事業進出のための先行投資により、人件費をはじめとした販売費及び一般管理費が膨らんだことによるものです。

親会社株主に帰属する当期純利益については、上記要因に加えて、下記のとおり特別損失 84 百万円を計上するため前回予想を下回る見込みとなりました。

3. 特別損失の計上

A I 研究開発等を行う株式会社ジーエルシーにおいて、韓国製スマートメディアディスプレイの販売を行うべく販売権を取得しておりましたが、韓国の情勢不安や工場の生産能力不足等があり販売計画を大幅に下回った結果、将来収益が見込めないと判断したため、その販売権につき平成 28 年 11 月期にて減損処理を行いました。

また、当社において平成 28 年 4 月に発生しました熊本震災に関連して債権放棄等を行ったことから、特別損失 84 百万円を計上する見込みです。

以上